

日本労働者同盟 現実擁護同盟

全労働者の敵 同盟

労働者賣渡ノ前科者

松岡助吉一死を葬れ

第2534号
昭和四年十月

内務大臣
社会局
各廳府

品川製作所

要旨 (一) 工場側
(二) 組合側
首題労働争議
一事業主側

労働者食物運動同盟を排撃す

品川製作所紛争問題につき其の眞想を發表す
親愛なる町民諸君！ 平和な工場？品川製作所で今突然に問題が勃発しました、そして十四日の早朝は工場前での騒動はさきへ行つた、事情を知らない町民諸君は嘸驚いた事でも日本労働者同盟東金産業労働組合品川支部は此處に品川製作所紛争問題について、責任ある其の眞想を公けにする次第であります。幸ひにして公平なる御批判を賜らん事を又我々は此の突然の事件につき深く町民諸君に謝す次第であります。

品川製作所と組合同盟との關係

既に六年前より全工場三百名全従業員は労働組合を造り、之を日本労働者同盟東金産業労働組合品川支部として労働条件待遇其他につき改善の努力を拂つて來ました。全會社は我が組合同盟並に品川支部を承認し、會社の希望も従業員も共に品川支部と會社との會議で協定され、御承知の通り漸次的に平和の空氣が生れ今日に至つたのであります。我が品川支部は全従業員の守り本尊であり維針盤でありました。

今度の事件の眞實想は次の如です

處ろが我が品川支部内に、彼の労働者を食物にして日本全体の労働団体からツマハジキされてゐる日本労働者同盟の手先が四五名影をひそめて居りました。夫は十五日會社より解雇された、西谷徳藏越川哲、中山正太郎、生澤龍藏、清水斐志の五名でありました。然し我等は我等の絶対多數の結果の前には毒手を伸ばすことは出来ませんでした。然るに我が組合同盟の全國大會が神戸市に開催され重要な幹部が悉く神戸に赴き、留守の際を利用して、反對派たる労働者の敵同盟の幹部と密議をこらし、支部乗取の策を講じました。その方針は、支部會計が會計上の誤りをなしたるにつき、支部の幹部會は慎重に此の對策を協議し現に策謀家たる西谷、越川等が其重要な委員となつて、幹部會は滿場一致意見の一致を見て會計も傷つかず圓滿に落着を見ました。然も西谷は後任會計とさへなつた程でした。然るに同じ西谷、越川等は、支部總會を開きたりしたのは洗面所に集れ？と従業員集め、然も反對派たる同盟幹部を工場に引き入れて大擾亂を行つたのでした。然して彼等曰く、僕等以外の幹部は公金をドロボツたのだ、總會開催に賛成のものは、調印せよと嘘の宣傳をなし無理矢理に調印させた、此の調印者は、組合同盟を脱退して、總同盟に加盟したのだと言ひふらしたのです。

そこで支部幹部會は、西谷等の行動の逆宣傳振りと、悪意、無責任の野心の行爲とを明白に全従業員に工場内同僚の總會に於て報告し、従業員多數決議で、西谷外四名を支部除名を斷行したのであります。かくて、西谷等總同盟の労働者食物陰謀は遂に失敗しました。多數従業員は明瞭に總同盟並に西谷等の毒手の魔法を知つて、其の調印を取り消しました。ために總同盟は今度は、彼等がかへて十四日の朝百餘の暴力團をかり集めて、工場に殺到して、従業員を威嚇して、再び勢力の回復を計らうとしました。彼等は石コロ、石炭、コン棒等を數多備へておいて暴れたのです。附近の酒屋さんの店の前等を彼等はぬすんで武器にして大暴れに暴れたのです。それが十四日の朝の彼等の騷擾であつたのです。然し今度の問題は會社對の問題ではなく總同盟の食物運動なので、我等は會社作業に迷惑をか